



1



2

1. いにしえのハイウェイ



母塚山 (標高276m、鳥取県南部町)



御墓山 (標高758m、鳥取県日南町)

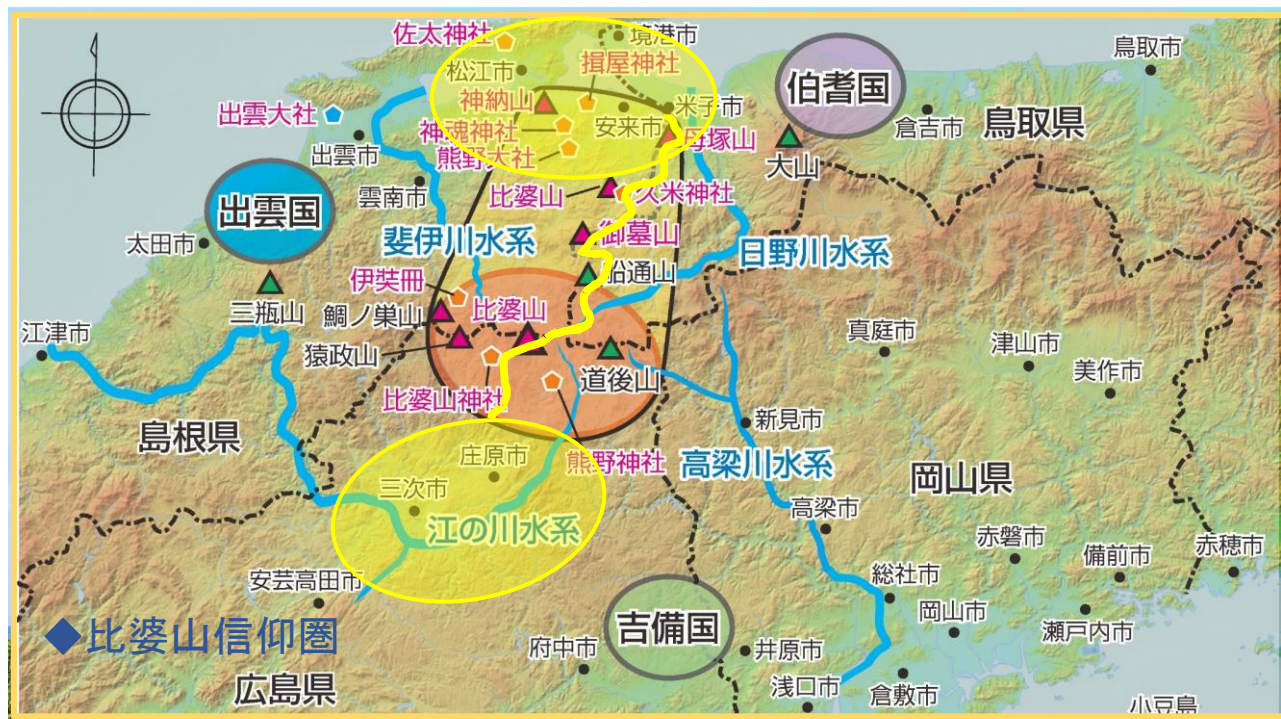


比婆山 (標高1264m、広島県庄原市)



比婆山 (標高331m、島根県安来市)

3



4



5

1. いにしえのハイウェイ

◆スサノオの旅路 —宣揚祭と御陵祭—



船通山 (標高1142m、島根県奥出雲町)



宣揚祭、スサノオの剣舞 (7月28日)

6



7

1. いにしえのハイウェイ

◆スサノオの旅路 —宣揚祭と御陵祭—



比婆山御陵(標高1164m、広島県庄原市)



御陵祭(7月28日ないし直近の日曜日)

8



御陵「七本榎（しちほんとか）」の命（みこと）神社（7月28日は「イザナミの命日」と伝える）

9

1. いにしえのハイウェイ

◆スサノオの旅路 —宣揚祭と御陵祭—



乱暴狼藉の末、
高天原を追われた
スサノオノミコトは
斐の川上、
「**鳥髪**」の地に
降り立った。

（『古事記』）

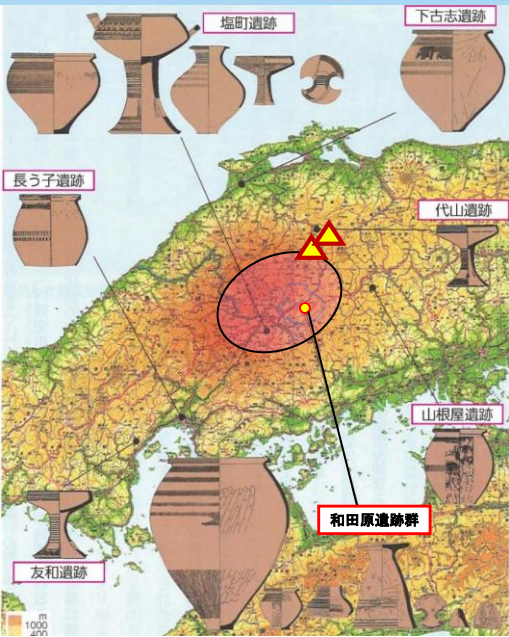
10

2. 塩町式土器

◆さいしょの「クニ」



塩町式土器(庄原市新庄町和田原D地点遺跡)

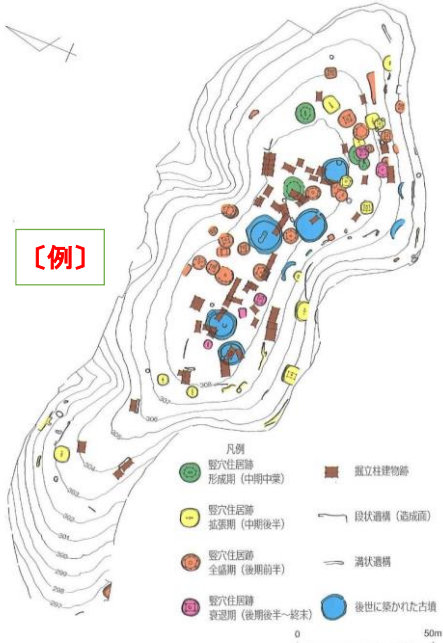


塩町式土器とその分布

(稲村2005「弥生時代」『庄原市の歴史』通史編を改変)

2. 塩町式土器

◆さいしょの「クニ」



和田原D地点遺跡の主要遺構配置図(縮尺1/1,500)
(文中『和田原D地点遺跡発掘調査報告書』をもとに作成)

2. 塩町式土器

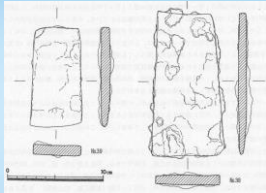
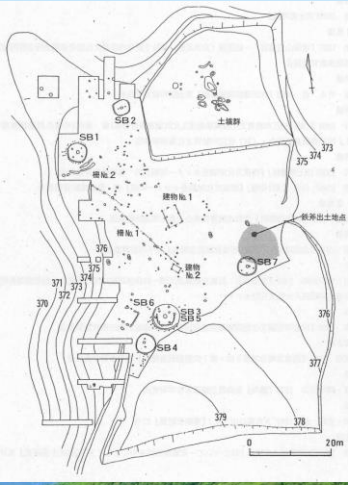
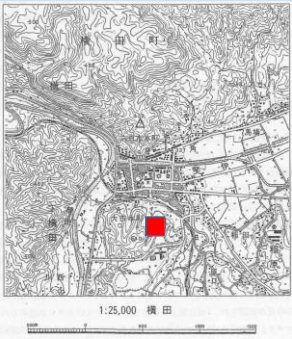
◆弥生人の旅路 一代山遺跡・国竹遺跡、熊野神社境内遺跡―



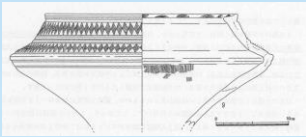
熊野神社境内遺跡の弥生土器 (庄原市西城町)

2. 塩町式土器文化圏

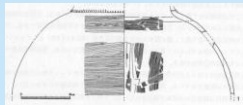
◆弥生人の旅路 一国竹遺跡―



板状鉄斧



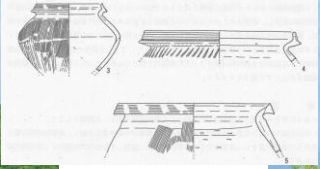
塩町式 脚台付鉢形土器



北部九州の壺形土器



塩町式 壺形土器



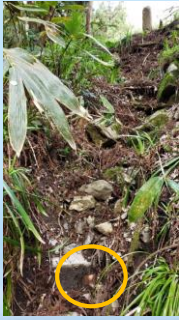
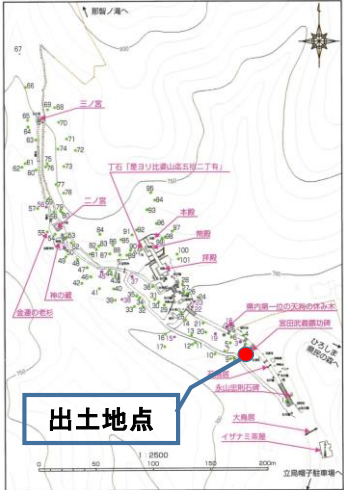
塩町式 甕形土器

塩町式 高坏形土器

国竹遺跡 (田中義昭・石田為成2000「島根県横田町国竹遺跡出土の鉄斧について」『島根考古学会誌』第17集)

2. 塩町式土器文化圏

◆弥生人の旅路 ―熊野神社境内遺跡―



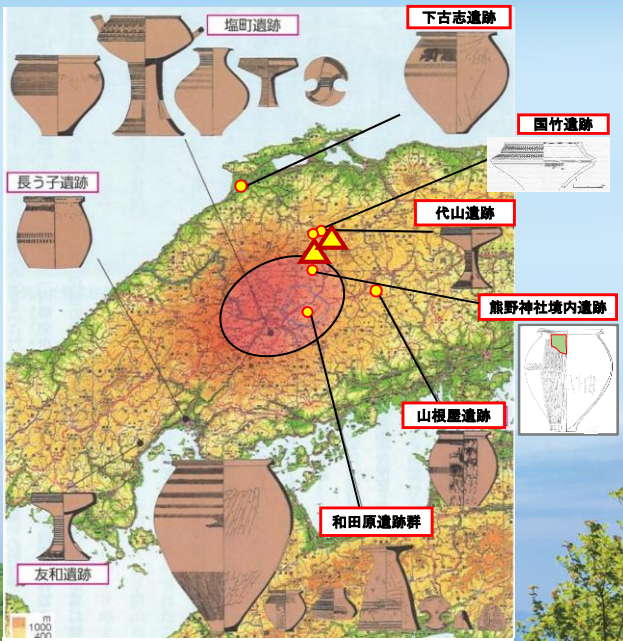
熊野神社境内遺跡（平成31年4月27日発見）

2. 塩町式土器

◆弥生人の旅路



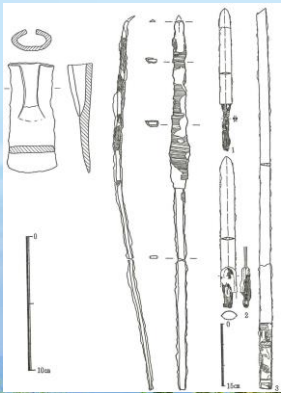
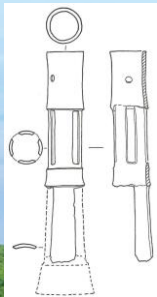
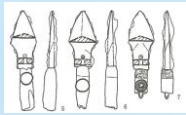
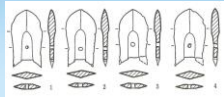
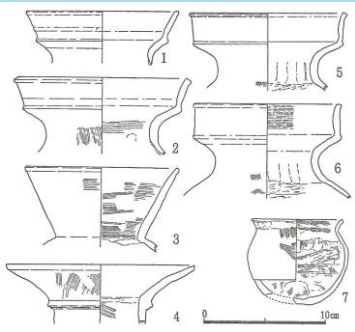
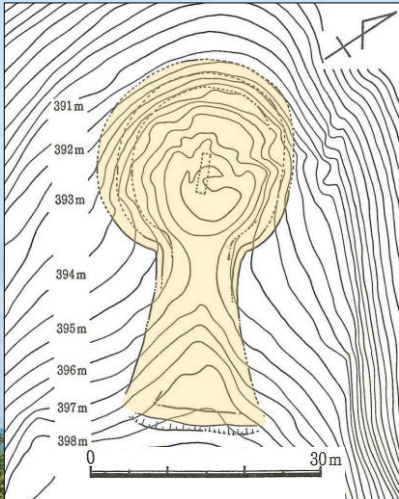
熊野神社境内遺跡の弥生土器
（庄原市西城町）



塩町式土器とその分布
（稲村2005「弥生時代」『庄原市の歴史』通史編をもとに作成）

3. 古墳の起源

◆前方後円墳は「結果」



大迫山第1号古墳(庄原市東城町)
(4世紀前半、全長45.5m)
(『東城町史』資料編)

3. 古墳の起源

◆前方後円墳は「結果」



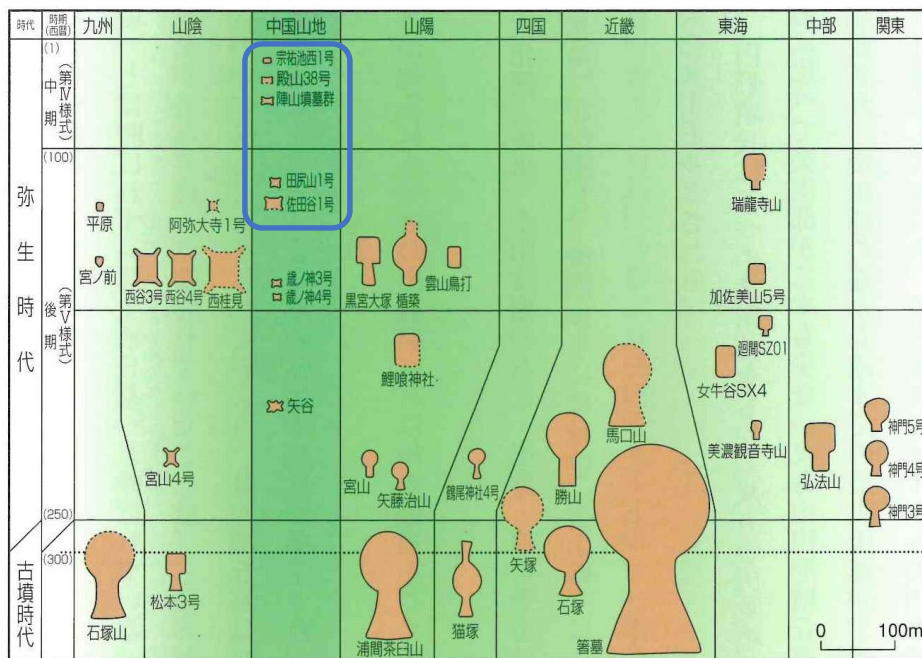
西谷(にしだに)3号墓(島根県出雲市)
(『吉備の弥生大首长墓・橿築弥生墳丘墓』福本明著 新泉社)



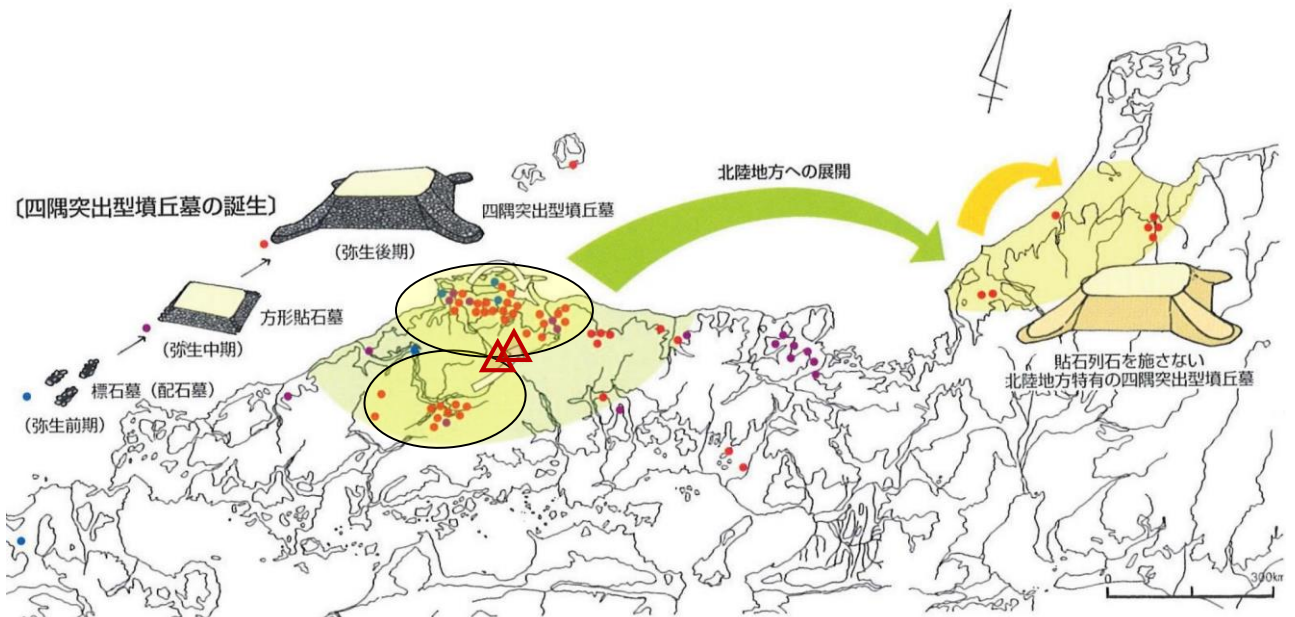
橿築(たてつき)弥生墳丘墓(岡山県総社市)
(『吉備の弥生大首长墓・橿築弥生墳丘墓』福本明著 新泉社)



箸墓(はしはか)古墳(奈良県桜井市)
(20120606 中国新聞「卑弥呼の古墳2D測量 奈良・箸墓3段構造と判明」)



突出部をもつ墳墓の変遷（稲村2005「弥生時代」『庄原市の歴史』通史編をもとに作成）



四隅突出型墳丘墓の誕生とその展開

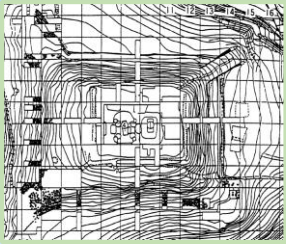
（島根県立古代出雲歴史博物館2007『弥生王墓誕生 出雲に王が誕生したとき』をもとに作成）

3. 古墳の起源

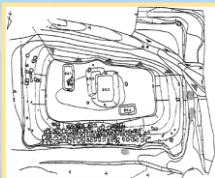
◆「突出部」というイノベーション



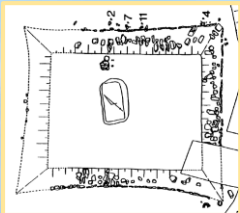
陣山墳墓群(三次市)



西谷3号墓(島根県出雲市)



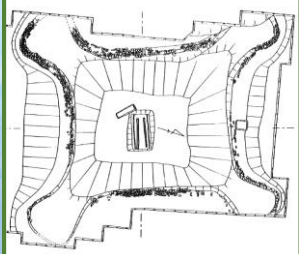
佐田谷第1号墓(庄原市高町)



田尻山第1号墓(山内町)



阿弥大寺1号墳丘墓
(鳥取県倉吉市)



宮山4号墓(島根県安来市)

中期末(約2000年前)

後期初頭(1C前半)

後期前半(1C)

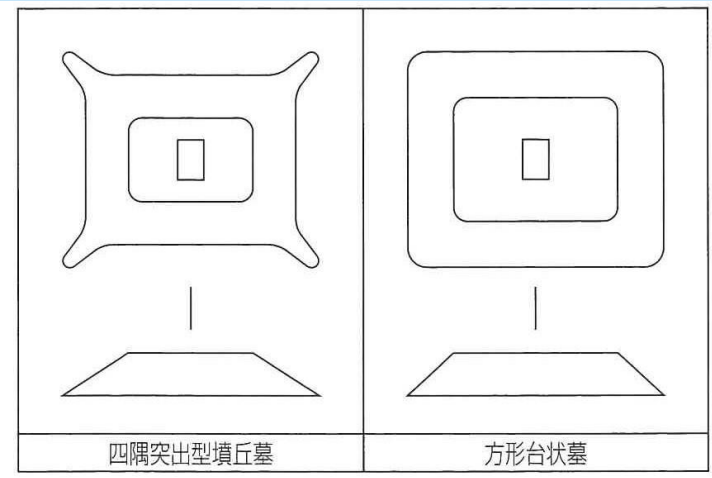
後期後半(2C)

後期末(3C前半)

21

3. 古墳の起源

◆「突出部」というイノベーション



四隅突出型墳丘墓

方形台状墓

「突出部」発明の意義

- ・上から見ると違うけど、横から見ると ほぼ一緒。
- ・四辺が内湾した分だけ、実際の墳丘は小さい。
(四隅が突出した分だけ、墳丘の見た目は大きい。)
- ・大型化と省力化を両立！

方形台状墓と四隅突出型墳丘墓 (稲村2005「弥生時代」『庄原市の歴史』通史編)

22

4.「庄原盆地 弥生王墓誕生」

◆さいしょの“弥生王墓”



ちゅうこうつき きやくだいつき はちがたどき
注口付き 脚台付 鉢形土器
佐田谷（さだだに）3号墓（庄原市宮内町・高町）



佐田谷・佐田峠墳墓群

（『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』研究編，2018）

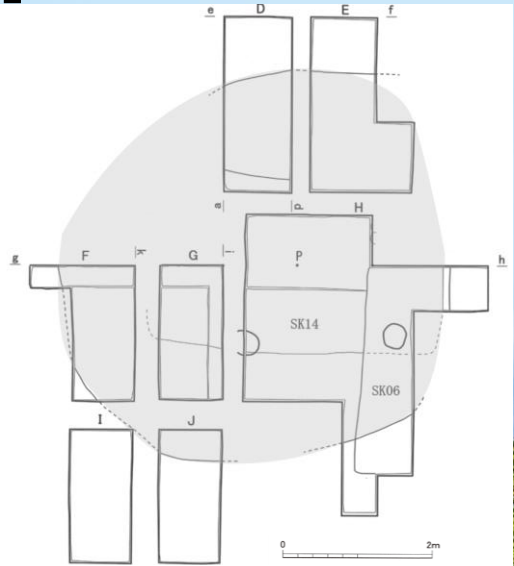
23

4.「庄原盆地 弥生王墓誕生」

◆さいしょの“弥生王墓”



佐田谷3号墓 主体部検出状況 SK14
（『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』調査編（2），2017）

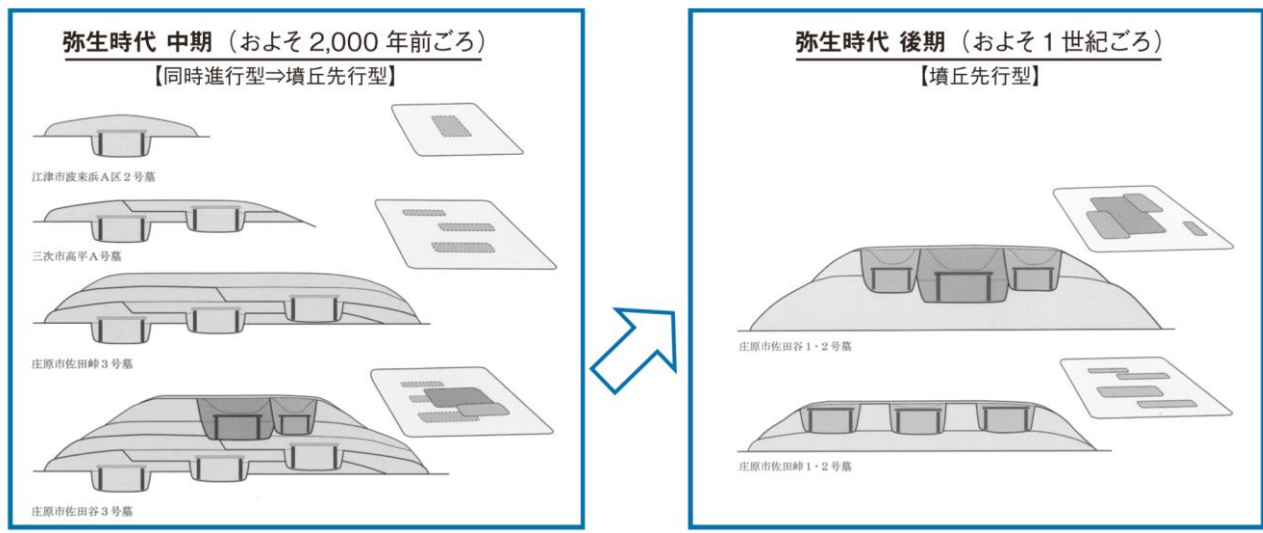


佐田谷3号墓 SK14 平面図

（『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』調査編（2），2017）

24

4.「庄原盆地 弥生王墓誕生」

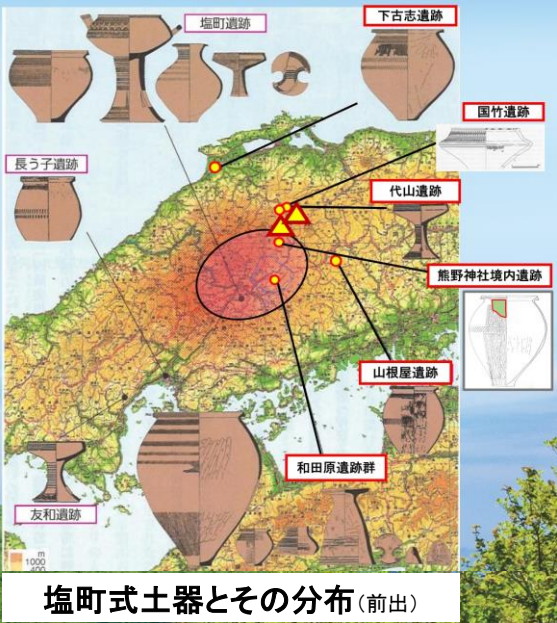
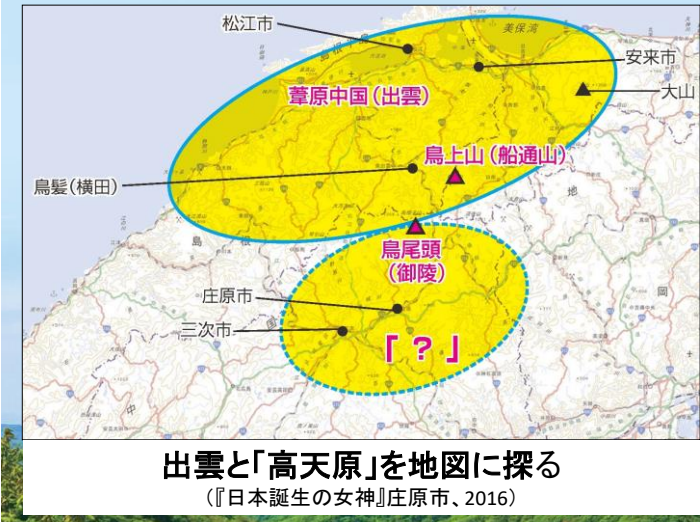


佐田谷・佐田峠墳墓群 墳丘築造の移り変わり
(野島永2018「IV.佐田谷・佐田峠墳墓群からみた埋葬施設の構造変化」『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』研究編をもとに作成)

25

4.「庄原盆地 弥生王墓誕生」

◆その「クニ」の名は？



26

ようこそ、

比婆山学へ

故、その神遊りましし
伊邪那美神は
出雲国と伯伎国との境の
比婆の山に葬りき

—『古事記』—

国を生み、神々を生んだ
女神の鎮まる聖なる山は、
深い謎に包まれてきた。
私たちのふるさと庄原市に、
知られざる『古事記』の聖地が
眠っていた。

それは、日本誕生の女神を祀る
比婆山（御陵）と、
悠久の巨杉の社叢に守られた
遍拝所の熊野神社である。

比婆山連峰は自然や歴史、
人々の暮らしや文化に裏打ちされた
稀有な資源にあふれている。
地域の宝を磨き、歴史と文化に学び、
未来への新たな産業を興す。
温故知新による、

この新しい地域づくりの手法を、
「比婆山学」と命名し、推進しよう。

庄原市長
木山耕三

ご清聴ありがとうございました。

